



寺池城址公園・登米総合体育館前広場の整備について

とよまの皆さんこんにちは。コロナ禍も感染状況が日増しに減少し、日常生活が少しずつ戻ってきたように感じる今日この頃です。

さて、「寺池城址公園・登米総合体育館前広場の整備について」は住民の皆さんのニーズを踏まえ、昨年12月に登米市長へ要望書を提出したところです。

その中で、今後市との意見交換の場を持ちながら対応を検討していく流れになり、去る10月11日に、その場が持てましたので状況等をお知らせします。

なお、場の設定が大変遅延してしまいましたことに深くお詫び申し上げます。

○市の意向（要旨）等

<寺池城址公園>

- ・宮城県北部流域森林林業活性センターさんより木製のベンチ2基を寄贈していただけることとなった（設置場所については別途調整していく）
- ・園全体の樹木の剪定・伐採については予算の確保が必要であり、来年度の当初予算に計上できるかどうか検討して参る。また、1年で整備できるものなのか、複数年の計画が必要となるのか考慮も必要。
- ・旧懐古館は解体の方向であるも、解体時期等は未定である。

●今後の対応

・城址公園については、一定の進展があったものと認識しますが、登米総合体育館前広場については、残念ながら進展することは叶いませんでした。今後は登米小学校さんの校庭への遊具拡大を視野に入れながら、民間の社会貢献活動を取り入れる方向を摸索していきたいと考えます。

<登米総合体育館前広場>

- ・過去に金沢山に児童遊園があり、遊具の経年劣化等があったものと思われるが、住民からは廃園の意向があったものと認識している。
- ・遊具の利用に関しては、近隣のこども園や児童館の遊具を有効利用していく方法もあるではないか。
- ・広場はカップマラソンや夏まつり時に休憩所等として活用している状況。遊具等を設置することにより、活用が制限されるのではないか。
- ・広場はスポーツ施設の一環であり、スポーツに関連する用途として今後も対応して参りたい。



とよま歴史探訪in米山町

登米市文化財保護委員の後藤悦雄先生を講師として、米山町を探訪しました。登米伊達家ゆかりの地を訪ねると題し、10月5日と9日の二日間で22名の方に参加していただきました。森村、西野館跡、網場神社、道の駅米山ふる里センターYY、長源寺、相原家墓所を巡り、藤原家と白石家についてや相原家は宗直が水沢より移封以来の待医の家柄だったことなど、登米と米山の昔の関わりを学びました。来年は、どこを巡るか今から楽しみですね。



10/5 長源寺住職とともに



10/9 網場神社神主とともに

月のクレーター見たよ🌙

10月15日に予定していた星空観察会を、天候の関係で前日に開催することになり参加予定されていた方々には、大変ご迷惑をおかけしました。急遽の変更にもかかわらず38名の方に参加いただき、ありがとうございました。ご寄付いただいた望遠鏡をはじめ、6台設置し、月のクレーターや木星、土星を見ることが出来ました。スマートフォンでの月の撮影はとて人気がありました。望遠鏡を覗いて「すごい!」、「キレイ!」と歓声が公民館の駐車場に響く夜になりました。



参加者のスマートフォンで撮影

11月行事予定

7日(日) とよま伝統芸能伝承体験会
登米能、とよま囃子、岡谷地南部神楽

25日(木) フラワー教室 スワック作り

